

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年(2021年)3月31日

事業所名 柏崎市早期療育事業元気館

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、事業所職員が自己評価を実施しました。  
事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の事業所運営に活かしていきます。  
今後ともより良い事業所運営を目指していききたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	・基準に基づいて活動スペースが確保されている。
	② 職員の配置数は適切であるか	14	0	・児童指導員等加配加算(Ⅰ)、児童指導員等加配加算(Ⅱ)、福祉専門職配置等加算(Ⅲ)を満たす職員体制を整え、人員基準以上の職員体制や専門職員を配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	0	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	・清潔環境を保つ為、毎日の清掃と児童が安全に活動出来るように安全対策をしている。個別指導室に空気清浄機を設置し活動環境に配慮している。 ・活動後には消毒、換気を徹底している。 ・ことばの指導時はマスクを取っての練習場面もあるが、間に安心パネルを置いて練習をしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14	0	・柏崎市人事課が統括する人事評価制度マニュアルの「職務目標管理シート」に基づき、行っている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	・年に一度、保護者向け評価表を用いて、アンケート調査を実施するとともに、前期、後期のモニタリング時に要望等を確認し、活動に取り入れれたり、改善をおこなっている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	0	・ガイドラインに基づいて事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を「すくすくネット」で公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	7	・検討中。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・事業所内研修に加え、大学教授等の専門的知識を有する方から定期的な研修を受けている。 ・今年度は市内での研修で可能なものには参加した。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・子どもの状態観察や保護者からの聞き取りにより、ニーズを把握し、児童発達支援計画に取り入れて作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	0	・初回に津守式発達質問用紙を保護者から記入してもらっている。また、今後の支援に必要なと思われる場合は新版K式やWISC検査を実施している。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0	・在籍園の職員に教室見学の依頼をしたり、事業所職員が園訪問をおこない、情報交換や支援内容の共有に努めている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	・児童発達支援計画に沿った支援を心掛けている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	・課題内容や職員の支援方法について子どもの状態に合わせて話し合い計画を立てている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	0	・季節感を取り入れた課題や子どもの状態に合わせた課題内容を提供している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・個別の教室は子どもの状況に合わせて数人のグループ活動を計画し、実施している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
適切な支援の提供	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0	・集団教室(プレー(たんぼぼ)教室、さくらんぼ教室、いちご教室グループ活動、吃音グループ活動)では事前に活動内容、職員の動きや支援方法について担当職員が打ち合わせをおこなっている。
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	0	・プレー(たんぼぼ)教室、さくらんぼ教室は教室終了後に参加職員で振り返りをおこなっており、ことばの相談室、いちご教室は個別指導のため、定期的なケースカンファレンスで情報共有を行い、記録し次の支援に活かすよう努めている。
	⑳	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	・プレー(たんぼぼ)教室、さくらんぼ教室は教室終了後に参加職員で振り返りをおこなっており、ことばの相談室、いちご教室は個別指導のため、定期的なケースカンファレンスで情報共有を行い、記録し次の支援に活かすよう努めている。
	㉑	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	14	0	・半年毎にモニタリングを保護者と実施し、計画の見直しや確認をおこなっている。
関係機関や保護者との連携	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	0	・直接・間接的に在籍園の担任と情報交換を行い、お互いの支援に活かしている。
	㉓	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14	0	・市直営で事業を実施していることから、関係機関との横のつながりを図りやすい。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	0	・柏崎刈羽地域自立支援協議会の子ども部会に所属し、連携が図られている。
	㉕	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	13	1	・該当児なし
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	・保護者の同意を得たうえで園との引継ぎの機会を設けている。
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	・保護者の同意を得たうえで就学先との引継ぎの機会を設けている。
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	0	・市内の児童発達支援事業所と情報交換を適宜行っている。
	㉙	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	6	・障害の有無に関わらず、未就園児は施設内ホールで、就園児は教室内で他園の児童と交流する機会がある。
	㉚	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	14	0	・柏崎刈羽地域自立支援協議会の子ども部会に参加している。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	・教室終了時に保護者と子どもの様子を振り返り、また定期的に相談の時間を設けている。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	14	0	・主に年長児、年中児の保護者にペアレント・トレーニングの募集案内を配布し、希望者に実施している。
保護者への説明責任等	㉝	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	0	・契約時に事業説明をおこない、安心して利用できるよう心掛けている。
	㉞	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	・児童発達支援計画の内容説明をおこない、保護者から同意を得て実施している。支援計画書は保護者と事業所でそれぞれ保管している。
	㉟	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	・教室終わりに保護者と子どもの様子を振り返り、また定期的に保護者との相談の時間を設けている。
	㊀	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	0	・各教室で座談会、OB座談会、退室児座談会等を実施している。保護者座談会等の開催により、保護者同士が悩みや不安を共有する場や、交流する機会を設けている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	・相談や申し入れがあった場合、面談等を実施し適切に対応するよう努めている。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明をおこなっている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	「プレー・たんぼぼだより」を毎月発行し、配付している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	14	0	・書類等は施錠できる部屋で管理している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	・活動内容をボードに提示したり、絵カードなど視覚支援での促しをおこない、安心して取り組めるよう配慮している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	8	・今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため教室行事が中止になり、他機関職員との交流の場が少なくなってしまった。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	0	・事業所単位での訓練は未実施だが、市や元気館としての防災訓練は定期的を実施している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	1	・元気館内(市)で実施している防災訓練に参加している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0	・初回面談時やアセスメント時に確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	1	・食物アレルギーの確認を保護者におこない、教室で提供するおやつへの配慮をしている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	・ヒヤリハットはファイルに綴じ、職員が共有し確認できるようにしている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	3	・子どもの様子や状況確認を担当保健師や在籍園と情報共有をおこなうよう心掛けている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	9	・身体拘束を要する児が居ない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。